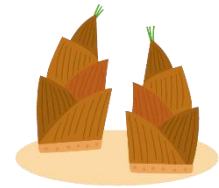




高校を卒業する意義



○新年度が始まりました！

1年生は入学、在校生は進級、おめでとうございます。

さあ、心機一転、また新しいスタートです。年度の区切りが必ずやってくることで、1年ごとに新たな気持ちで頑張れるのではないかと思います。出口があると知っているも、果てしなく長いトンネルを黙々と進むのは大変です。

そんなわけで、みなさんは、これからの1年をどう過ごしたいですか？高商定時制で得たいものは何でしょうか？

○現実を客観的に理解し、自分の意思で頑張る

最低限高校卒業の学歴はあった方がいい。本校に在籍する多くの生徒のみなさんは、そう思って頑張っているのではないのでしょうか。次のデータを見て下さい。

(1)年代別最終学歴の割合

※未就学者、在学者、学歴不詳の人数を除く

年代	中卒者の割合	高卒者の割合	大卒以上の割合
20代	3.9%	43.0%	31.3%
30代	5.1%	33.6%	40.8%
40代	5.3%	40.0%	30.1%
50代	5.6%	47.5%	26.1%
60代	11.3%	50.4%	23.5%
70代	27.4%	50.5%	14.4%

在学中の大学生や院生が人数に含まれないため大卒以上の割合が少ない

令和2年国勢調査 就業状態等基本集計より

(2)学歴別求人数

	求職者数	求人数	求人倍率
中卒	約364人	約1,077人	約2.9倍
高卒	約127,000人	約444,000人	約3.5倍
大卒	約451,000人	約707,000人	約1.7倍

中卒は、求人倍率は高く見えるが、求人数が圧倒的に少ないため、仕事を選べない

令和4年度「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況」より

(3)学歴別雇用形態

	正社員	正社員以外
中卒	35.4%	64.0%
高卒	56.3%	43.2%
大卒	74.5%	1.9%

働き方は個人の事情で、あえて選択している可能性もあるが、正社員より正社員以外で働く人の割合が多いのは、中卒のみとなっている

平成30年若年者雇用実態調査より

良い悪いはでなく、有利か不利かで考えると、社会で生きていくために少なくとも高卒以上の学歴がある方が安心かつ圧倒的に有利であることがわかります。

高校を卒業するには、登校して授業に出席し必要な単位を取得することが必須です。在籍してさえいれば卒業できる、というわけにはいきません。今日の自分の頑張りは、未来の自分への贈り物です。まずはこれから1年間、最善を尽くして頑張りましょう！